

東京成徳大学中学・高等学校

東京都 北区



TOKYO SEITOKU



学校の概要

- ・生徒数約600名
- ・教員数70名
- ・私立
- ・中学1年生～高校3年生

📅 学校の特徴

東京成徳学園の建学の精神は「徳を成す人材の育成」。東京成徳で培った精神を様々な場面で活かすことのできる人材の育成で、生徒それぞれの個性を大切に育てています。

そうした建学の精神をもとに私たちは「東京成徳ビジョン100」という学園共通の教育ビジョンを設定し、生徒達の主体的な学びにつなげる指導を日々行っています。

例えば国際理解の一環として中学3年次でニュージーランドに全員で留学すること、また高校1年次にはSTEAM教育の要素を取り入れた探求ゼミナール活動や「自分とは何か？」など自分を深める学習など幅広い取り組みが特徴です。



🔗 リンク

(学校の特徴、ビジョン)

- ・ [東京成徳の紹介](#)
- ・ [東京成徳のビジョンとテクノロジー](#)

(学習)

- ・ [学校全体でのテクノロジー活用について](#)
- ・ [特色のある取り組み 探求ゼミナール](#)
- ・ [降矢貴充 教諭 \(数学科\) のストーリー](#)
- ・ [福島祥雅 教諭 \(社会科\) のストーリー](#)
- ・ [東京成徳大学中学校 2020年度 ICT教育 - iPad活用の実践例 - \(pdf\)](#)

Appleの製品とサービス



生徒：

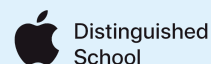
- ・ iPad1人1台
- ・ MacBook (高校生選択)
- ・ Apple Pencil
- ・ Everyone Can Create
- ・ Everyone Can Code

教員：

- ・ iPad1人1台
- ・ Apple Pencil1人1本
- ・ Apple Teacher
- ・ Apple Distinguished Educator (4名)

教室：

- ・ Apple TV





👁️ ビジョン

「東京成徳ビジョン100」から本校では7つの項目を重要な教育目標と位置付け、常に改善・進化を続けています。

学力：6年間で幅広い知識、高い知性を育む

心身：学校生活を通して、健全な心身を育む

人間性：学校生活を通して、健全な人間性を育む

創造性：自ら学びを深め、創造性を育む

Global Mind：国際的な視野を持ち、コミュニケーション力を身につける

実社会とのつながり：学校行事や課外活動などを通して、他者と協働しながら主体的に課題を解決する力を養う

iPadを活用しながら日々の授業や家庭学習に取り組むことで生徒たちは様々な能力を育み、自己実現へとつなげていきます。

👤 学習

本校での教育活動において「先生方の実現したい授業」を大切に、教員研修の充実や教職員間のディスカッションを継続的に行い、より良い教育内容について検討を重ねるだけではなく、保護者（地域）との連携、生徒達それぞれに合った適切な評価についてなどに関しても対話を繰り返しながら日々アップデートを続けています。

創造的、主体的に知識を獲得し、より深く、より実践的な学習体験を東京成徳で積み重ねてほしいという私たちの強い思いがあるからです。

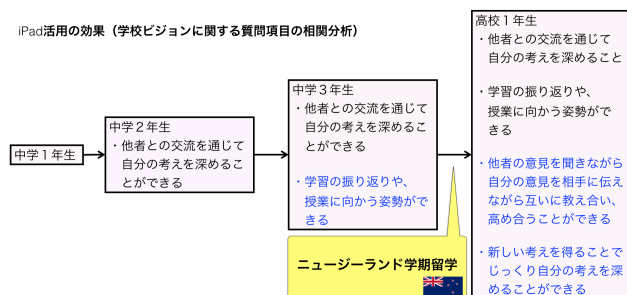
例えば、中学校地理の授業では「都道府県のシンボルマーク作り」をします。都道府県のシンボルマークを作るデザインを通して、地域の特産品や名所、地域の歴史などについて詳しく調べる必要が学習過程にでてきます。こうした創造的な学習活動を通じて地理に対する深い背景知識を獲得することにつながっていきます。

また中学校数学の授業では、数学に関するキャラクター作りや自分だけのオリジナル教科書作りに取り組めます。公式などを単に暗記するのではなく、キャラクターを自分で作ることを通して主体的に数学への理解を深めることができます。友達が作ったキャラクターを自分の教科書に登場させることなど友人と協力しながら学びを深めることも可能です。

🏆 成果

本校では「東京成徳ビジョン100」における、育てたい生徒像について10項目に整理し、その達成度の調査を継続して行っています。調査から、生徒達はiPadを通じて他者と交流しながら、自分を振り返り、協働的に自分の学びを高めていることがはっきりとわかってきました。学習面に関するiPad活用（学習動画の利用など）については学齢が上がってけば、友人達の手法を参考にしながら効果的に進める力が身についていくこともわかります。友人と協力しながら「学び」を進めていく経験が、最終的には生徒自身の「自己実現」へつなげる力へ派生していくことが調査から見えてきました。

本校におけるテクノロジーを用いた教育における学齢ごとの段階的な効果



➡ 今後のプラン

2022年度からスタートする新カリキュラムでは、これまで取り組んできたニュージーランド全員留学の選択肢を広げるとともに、探究型学習を充実させ、生徒がより主体的に学べる学習を目指していきます。高校2年次には、ゼミナール活動や探究学習で学んだ内容をさらに深め、少人数グループによる国内実地踏査や、学校の枠を越えた活動に取り組んでいく予定です。

創立100周年を間近に控え、東京成徳ではiPadやMacBookとともに自分の興味・関心を深く探り、自分は何を学びたいのか、将来はどのような方向を目指すのか、専門分野につながる学びをさらに深めていきます。

🔗 リンク

(成果)

- ・ [本校におけるiPad活用の教育効果](#)
- ・ [ある5年生とiPadのストーリー](#)
- ・ [ある3年生とiPadのストーリー](#)
- ・ [生徒会 x iPad](#)